

5月から施行される新たな元号“令和”が定まりました。この元号は、万葉集におさめられている歌が典拠になっていて、人々が心を寄せ合い、文化が生まれ育つ日本であってほしいとの願いがこめられているとのことで、そのような時代になることを期待せずにはいられません。

そして、この乙貞も改元によって、昭和、平成、令和の三時代にわたって、遺跡調査やセンターにまつわる情報を皆様に向けて発信していくことになりました。昭和、平成の乙貞よりも読みやすく、親しみを持っていただける紙面づくりに務めていきたいと思っています。

それでは、2月以降に実施された2件の調査成果と平成30年度調査のまとめ、当センターで実施する事業などをお伝えしていきます。

発掘調査だより

下長遺跡 第26次調査

前号でも報告しました大門-横江線の道路建設に伴う発掘調査を平成31年1月21日から2月12日までの期間で行ないました。

調査面積は約310㎡で、耕作土直下から平行関係を保ちながら東西方向に流れる3条の溝（溝1～3）が検出されました。溝幅は約0.7m、深さは0.1～0.3mで、いずれも溝底に砂層の堆積が見られ、旧野洲川の流路に沿って流れていた古墳時代前期の水路であると考えられます。

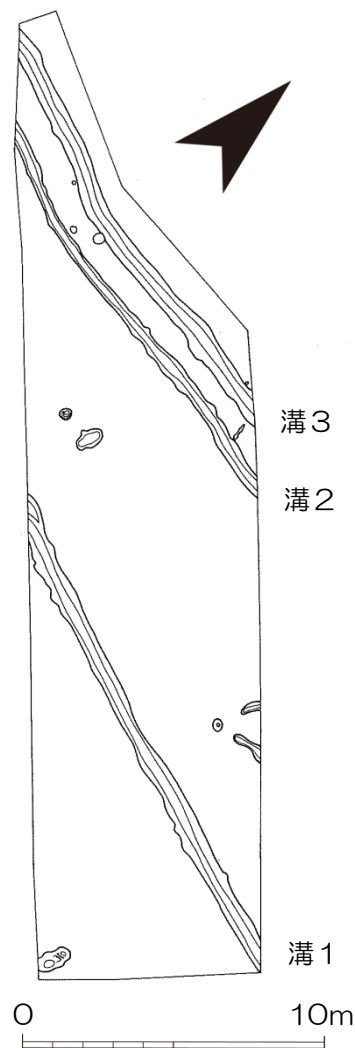
なお、溝1、3からは古墳時代前期の土師器のほか弥生土器、溝1からは弥生時代の楔形石器と思われる石器も出土しました。

今回の調査で、古墳時代前期を盛期とする下長遺跡の西辺にあたる調査地には、中心部の濃密な集落遺構が広がりを見せないことがわかりました。

（堀田）



▲調査区全景写真（左：南東側から・右：真上から）



▲検出遺構平面図

伊勢遺跡 128 次調査

伊勢町字伊勢里において、宅地造成に伴う調査を2月25日から28日にかけて行いました。道路予定地のうち約150㎡が調査の対象で、一部は攪乱を受けていましたが、坑、溝、ピットを検出しました。

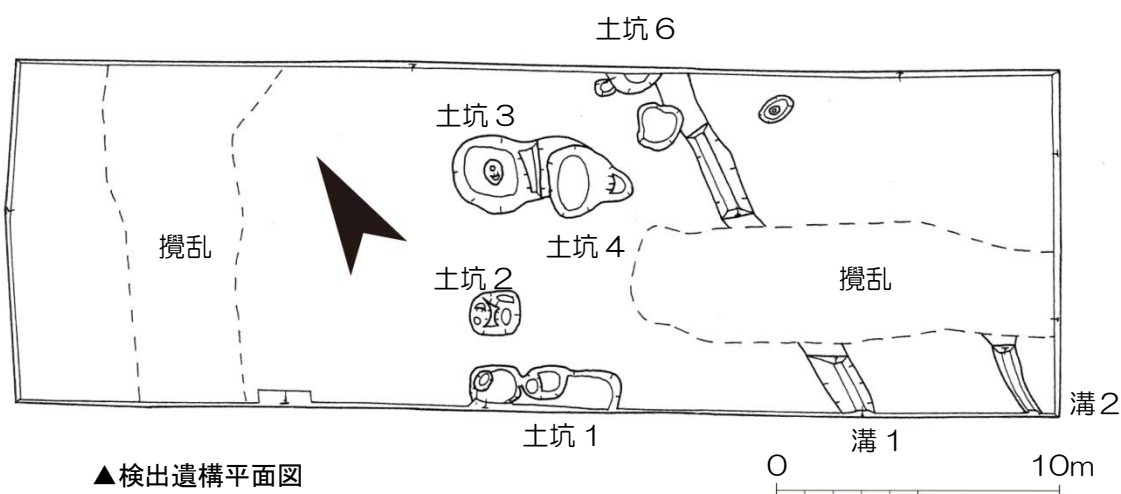
検出した土坑1や土坑2から土師器や須恵器が、土坑3と土坑5から土師器や黒色土器、土坑4から信楽焼の陶器片が出土しています。また、溝1からは、弥生時代後期の甕がみつっています。

今回の調査地は、周囲より低い位置にありましたが、近隣の調査と同様に弥生時代後期から鎌倉時代までの遺構の広がりがあることが確認できました。

(畑本)



▲ 検出遺構写真



▲ 検出遺構平面図

平成30年度調査のまとめ

平成30年度は次頁の一覧表にまとめているとおり、12遺跡19地点で発掘調査（本調査と確認調査）を実施しました。このうち3件は、国史跡に指定されている下之郷遺跡、伊勢遺跡で実施した確認調査で、残りの16件が住宅建築や宅地造成、道路建設などの開発に伴う記録保存のための発掘調査です。

ここ数年来、調査件数は20件前後を推移していて、調査面積も数百㎡以下の、以前に比べて小規模な調査が多くを占めていることや、既に遺跡の概要が把握されていることから、テレビ、新聞で報道されるような新たな知見を得るに至るような成果は挙がりませんでした。しかし、例えば下之郷遺跡や播磨田東遺跡など、多くの調査が既往調査地の隣地や近接地で実施したもので、その結果、下之郷遺跡では集落を囲繞する環濠の想定位置を検証することができました。

また、播磨田東遺跡は、河西ハイムタウン、ニュータウン一帯に弥生時代中期、古墳時代前期に集落が営まれていましたが、その東辺は墓が築かれたり、人々が暮らしたりと、目まぐるしい土地利用があったことがわかっています。今回の55、56次調査は野洲市に程近いところでの調査で、やはり、弥生時代中期から古墳時代にかけての住居や墓が検出され、これまでの調査での想定を追認する結果となりました。

平成30年度の調査は、現在までに把握している遺跡の実態をより微細なものにした調査とまとめることができます。



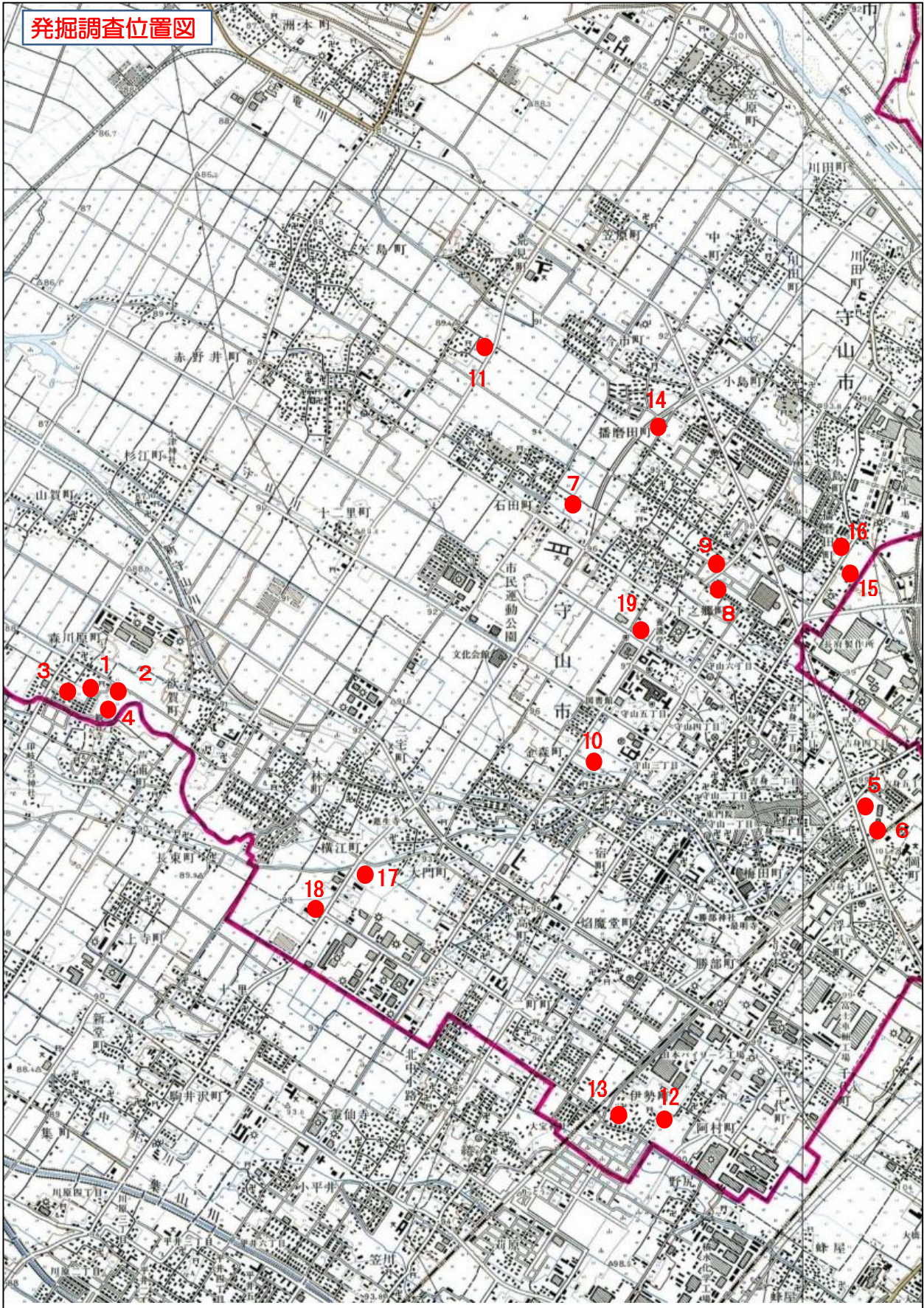
▲播磨田東遺跡 56 次調査風景

平成 30 年度 発掘調査一覧表

(遺跡毎、着手順 調査面積は概数)

番号	遺 跡 名(調査回数)	調 査 所 在 地	調 査 面 積	調 査 期 間	調 査 種 別	調 査 原 因	担 当	乙 貞 掲 載
1	欲賀西遺跡(4)	森川原町字岩崎	200 m ²	H30.4.18 ~5.15	本調査	宅地造成	堀田	6月号
2	欲賀西遺跡(5)	森川原町字岩崎	300 m ²	H30.7.14 ~8.21	本調査	宅地造成	畑本	10月号
3	欲賀西遺跡(6)	森川原町字井上	56.1 m ²	H30.9.10 ~10.22	本調査	宅地造成	畑本	12月号
4	欲賀西遺跡(7)	森川原町字村之内	69 m ²	H31.1.25	本調査	個人住宅	川畑	
5	益須寺関連遺跡	吉身五丁目字アゴ子	67 m ²	H30.4.24	本調査	個人住宅	川畑	
6	益須寺関連遺跡	吉身五丁目字藤ノ木	84 m ²	H30.6.1	本調査	個人住宅	川畑	
7	播磨田西遺跡(25)	石田町字七ヶ坪	350 m ²	H30.5.9 ~6.15	本調査	宅地造成	畑本	6・8月号
8	下之郷遺跡(114)	下之郷二丁目字見田	1,000 m ²	H30.5.28 ~8.10	確認調査	宅地造成	川畑	10月号
9	下之郷遺跡(115)	下之郷二丁目字見田	925 m ²	H30.8.10 ~11.20	確認調査	宅地造成	川畑	12月号
10	金森東遺跡(60)	金森町字野辺	45 m ²	H30.6.13 ~6.14	本調査	個人住宅	伴野	8月号
11	布施野城遺跡(3)	播磨田町字三反田	550 m ²	H30.6.18 ~7.19	本調査	宅地造成	堀田	8月号
12	伊勢遺跡(127)	伊勢町字北東浦	100 m ²	H30.7.3 ~7.13	確認調査	道路開発	伴野	
13	伊勢遺跡(128)	伊勢町字伊勢里	150 m ²	H31.2.25 ~2.28	本調査	宅地造成	畑本	本号
14	今市遺跡	播磨田町字岩谷	64 m ²	H30.9.19	本調査	個人住宅	川畑	
15	播磨田東遺跡(55)	播磨田町字二ノ坪	56 m ²	H30.8.22 ~8.23	本調査	個人住宅	川畑	
16	播磨田東遺跡(56)	播磨田町字平芝	400 m ²	H30.11.12 ~12.21	本調査	宅地造成	堀田	2月号
17	横江遺跡(10)	大門町字下大藪	110 m ²	H30.10.17 ~10.19	本調査	宅地造成	堀田	12月号
18	下長遺跡(26)	大門町字吉時	310 m ²	H31.1.21 ~2.12	本調査	道路開発	堀田	2月・本号
19	吉身西遺跡(127)	下之郷三丁目字下鎌田	40 m ²	H31.3.14	本調査	個人住宅	川畑	

発掘調査位置図



凡 例 1～4：欲賀西遺跡, 5,6：益須寺関連遺跡, 7：播磨田西遺跡, 8,9：下之郷遺跡, 10：金森東遺跡,
11：布施野城遺跡, 12,13：伊勢遺跡, 14：今市遺跡, 15,16：播磨田東遺跡, 17：横江遺跡, 18：下長遺跡,
19：吉身西遺跡

トピックス

春季講演会 開催します！

5月18日(土) 午後**2**時から

「発掘調査、洛中洛外

－秀吉が築き、家康が再興した伏見城の調査－

つじ ひろし

講師は、辻 広志さん (株式会社四門)



時代名に反映される伏見城

定員 80 名・受講料無料 受講をお待ちしています！

お申込みは、585-4397 (守山市立埋蔵文化財センター) まで

申し込み時間は午前9:00～午後4:00 (毎週火曜日は休館日です。)

2019 歴史入門講座「**やきものの魅力**」は開催準備中です。

詳細は、5月15日号の広報もりやまの他、HP歴史のまち守山・埋蔵文化財センターフェイスブック等に掲載のうえ、受講者を募集します。ぜひ受講してください！

日程/令和元年6月から12月(11月を除く)までの第3土曜日の午前10時から12時まで全6講

第1講 6月15日(土) / 第2講 7月20日(土) / 第3講 8月17日(土) / 第4講 9月21日(土) /

第5講 10月19日(土) / 最終講12月21日(土)

◆開催場所 市立埋蔵文化財センター2階会議室

◆受講料 1,200円 (全6講・1講のみ受講の場合は200円/講)

◆申込み受付 令和元年5月15日(水) から

◆申込み先 守山市立埋蔵文化財センター 電話・FAX 077-585-4397

野洲川放水路通水40周年記念

「**野洲川流域の歴史と文化のひとこま -服部遺跡の調査-**」を開催！

かつて、野洲川は流域の人々に豊穰と繁栄を与えた反面、近江太郎の異名をもつように古来より凄惨な水害を引き起こす暴れ川でもありました。

昭和28(1953)年の大規模水害を契機に、流域住民の悲願であった野洲川改修工事が着手され、昭和54年に竣工しました。今年が野洲川通水40周年の節目を迎えることから、「野洲川流域の歴史と文化のひとこま -服部遺跡の調査-」と題し、下記のとおり企画展を開催します。

【開催期間】令和元年6月1日(土)から7月28日(日)まで

【展示場所】埋蔵文化財センター2階の展示ケース・壁面パネル展示

関連企画

野洲川流域講座第1講「野洲川流域の自然と文化」(連携講座)

開催日時 令和元年6月1日(土) 午後2時から

■テーマ1「野洲川と服部遺跡」当センター 岩崎 茂

■テーマ2「仮題・野洲川とほたる」守山市ほたるの森資料館副館長 古川道夫

開催場所 当センター2階会議室(受講料無料 定員80名 当日受付)

主催 守山市立埋蔵文化財センター

協力 野洲市歴史民俗博物館・栗東歴史民俗博物館・守山市ほたるの森資料館

会員を募集中です！

埋蔵文化財センター友の会は遺跡や歴史、文化財に興味を持つ者の集まりです。県内外の史跡や博物館、社寺仏閣などの見学を通じ、自己研鑽に励んでいます。

興味のある方の入会をお待ちしています！

平成 30 年度の主な活動

- 総会・第 1 回見学会 5 月 17 日(木)
「愛荘町の文化」愛荘町歴史文化博物館/金剛輪寺/
びんてまりの館



- 第 2 回見学会 7 月 21 日(金)
「三重県伊賀市～山間に佇む伊賀の里探訪」
史跡城之越遺跡/伊賀上野城/武家屋敷入交家

- 第 3 回見学会 9 月 26 日(水) 「岐阜市・愛知県犬山市～
国内出土の優品と美濃・尾張の文化を訪ねる」岐阜市歴史博物館
/犬山城およびその城下町/史跡青塚古墳



- 第 4 回見学会 平成 31 年 1 月 18 日(金)
「三重県鈴鹿・四日市市～春なれや名も無き山の薄霞～伊勢の
国」鈴鹿市考古博物館/四日市市立博物館/くるべ古代歴史館

- 第 5 回見学会 3 月 8 日(金)
「奈良県田原本町・天理市～国内最
大級の環濠集落遺跡と世界の生活
文化、考古美術を探る」
唐古・鍵考古学ミュージアム/天理
大学附属天理参考館



年会費 2,000 円、見学会参加費は別途必要となります。お問合せ・入会申し込みは
守山市立埋蔵文化財センター友の会事務局 077 (585) 4397 までお電話ください。

【後記】年度末の 3 月にもなると、全国各地の教育委員会や調査機関から遺跡の発掘調査報告書が届きます。北は東北・北海道、南は九州、沖縄まで、毎日毎日、郵便局やあらゆる宅配業者から配達されるその冊数は半端ではなく、二、三日手をこまねいていると、たちまちうずたかい本の山が出来上がります。報告書の大半は過年度実施の調査成果を精査したのですが、テレビや新聞で大々的に報ぜられ、記憶に残る遺跡の調査報告書はおのずと興味がそそられます。

全国的に注目される調査成果を挙げることで、そのことが遺跡調査の目的ではありませんが、皆様方に遺跡調査の意義を再認識していただくためにも、新たな令和の調査に期待します。(馬耳東風)